

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | |
|---------------|---|
| 事業所番号 | 270301435 |
| 法人名 | 有限会社ケア・ユニーク |
| 事業所名 | リビング・ホームおおくぼ |
| 所在地 (電話番号) | 〒031-0833 青森県八戸市大久保字大塚17-521 (電話) 0178-32-4888 |

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 社団法人青森県老人福祉協会 | | |
| 所在地 | 〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年1月21日 | 評価確定日 | 平成21年3月24日 |

【情報提供票より】(平成20年12月26日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------|-----------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)14年12月10日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 14 人 | 常勤 | 14人, 非常勤 0人, 常勤換算 14人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-----|-------|
| 建物構造 | 木造造り | | |
| | 1 階建ての | 階 ~ | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------|----------------|---------------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 30,000 円 | その他の経費(月額) | 10,500 ~ 冬期18,900 円 | |
| 敷金 | 有() 円 (無) | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有() 円 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ | 0 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(12月26日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 1 名 | 女性 | 17 名 |
| 要介護1 | 4 名 | 要介護2 | 5 名 | | |
| 要介護3 | 6 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 88 歳 | 最低 | 78 歳 | 最高 | 98 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------------|
| 協力医療機関名 | たかのはし歯科医院、医療法人平成会平和病院、オーリーブ |
|---------|-----------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

| |
|---|
| <p>木立に囲まれた閑静な立地条件の一角に位置し、木造平屋造にて建物の外観も柔らかい優しい雰囲気となっている。ホールや廊下等の共用空間のいたるところに、趣向を凝らした楽しい温かみのある飾りつけがなされており、入居者に喜んでもらうための工夫や取組みが随所に見られる。管理者を含め、職員の落ち着いた声掛け、関わりにより入居者はみな穏やかな表情をされており、安らぎのある雰囲気の特徴的な事業所である。</p> |
|---|

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善可能なものにつきその取組みがなされており、隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献、災害対策、権利擁護制度に関する制度の理解と活用の項目については、その重要性を認識しながら、改善としての取組みには至っていない。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員からの聞き取りをもとに管理者がおこなっており、外部評価の結果と併せ、改善可能なものにつき取組みがなされている。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>日々のサービスの提供状況、外部評価の結果並びにその取組みについての双方向的な話し合いがなされており、サービスの向上に活かせるよう努めている。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>日頃の面会時に気軽に要望等につき、話し合えるような雰囲気作りに努め、実際に申出があった場合は会議にて話し合い、運営に反映させている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>隣近所から離れた場所に立地していること、地域との交流の手段を見出せない等の理由により、地域との連携には至っていない。地域住民の一員であり、地域に開かれた存在でなければならないことの自覚を強め、積極的な地域との交流・貢献活動としての取組みに期待したい。</p> |

2. 評価結果(詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|---|---------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 入居者の残存機能を維持していくことを目的とした事業所独自の理念となっている。 | | 地域密着型サービスとしての役割についても理念の中へ組み込まれることに期待したい。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員トイレやその他職員の目につくところに掲示し、啓発を図ると共に、入居者の生活の一部に取り入れ、実践している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 4 | 隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | 隣近所の民家等から離れた場所に位置し、日常的なつきあいが難しく、地域との関わり、地域貢献としての取り組みも特になされていない。 | | 地域住民の一員、地域に開かれた存在であることの自覚を強め、隣近所、地域との交流、貢献活動としての積極的な取組みに期待したい。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|--|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 5 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | <p>自己評価並びに外部評価の実施を機に、改善可能なものにつき取組みがなされ、サービスの質の向上に努めている。</p> | | |
| 5 | 6 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>2ヶ月に一回、会議が実施されており、相互的な話し合いがなされ、サービスの向上に活かされている。</p> | | |
| 6 | 7 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>運営推進会議以外に特に行き来する機会はなく、運営や現場の実情等を積極的に伝えるまでは至っていない。</p> | | <p>運営や現場の実情等の理解をさらに深めてもらうために、運営推進会議以外に、積極的に市町村担当者のもとに行き来する機会を設ける取組みに期待したい。</p> |
| 7 | 8 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>現在、実際の相談、対応がない為、学ぶ機会を設けていない。</p> | | <p>必要となった際に全職員が対応できるよう、関連知識の習得、共有するための機会の確保に期待したい。</p> |
| 8 | 9 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>虐待、抑制防止について、全職員が理解しており、日頃から細心の注意を払い、尊厳を重視した取組みがなされている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 9 | 10 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>利用料以外の費用の説明や事故のリスクの説明等、詳細についても十分な説明を行い、同意が得られている。</p> | | |
| 10 | 12 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>毎月、写真付きの広報で入居者の暮らしぶりを金銭報告と併せ行っており、必要に応じて電話での報告もしている。</p> | | |
| 11 | 13 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>日頃の面会時に気軽に意見や要望が話し合えるような雰囲気作りに努め、実際に申出があった場合は、運営に反映させている。</p> | | |
| 12 | 16 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>特別な理由がない限り、職員の異動は行っておらず、離職の際は、利用者への声掛けの徹底によりコミュニケーションを密にし、ダメージを防ぐ配慮として努めている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 13 | 17 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 事業所内外で開催される研修には、計画的に可能な限り職員が参加できるよう努めている。 | | |
| 14 | 18 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 法人内の事業所間で相互研修を実施し、自らの取組みを見つめ直すきっかけ作りの取組みを行っている。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 15 | 23 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居者の生活歴、趣味、性格等の情報を事前に家族から聞き取りをし、安心感を持ってもらう為、家族と相談しながら行っている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 16 | 24 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 入居者の意見に耳を傾け、コミュニケーションを大切にしながら、共に支えあう場面ができるよう努めている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 17 | 30 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>入居者の言動や表情から真意を推し測り、希望や意向の把握に努め、困難な場合も本人本位に検討している。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 18 | 33 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>入居者並びに家族の言葉や思いを主体とし、関係者間の話し合いをもとに介護計画を作成している。</p> | | |
| 19 | 34 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>毎月1回、全職員で話し合うカンファレンスにて入居者の現状や新たな気付きをもとに意見を出し合い、介護計画の見直しを行っている。また入居者の状況に変化がある場合はその都度話し合いをし、現状に即した介護計画の見直しを図っている。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 20 | 36 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>入居者や家族の状況に応じて、暮らしの継続に必要な外出支援や通院支援等に柔軟に対応している。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 21 | 40 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居者並びに家族が希望するかかりつけ医となっている。 | | |
| 22 | 44 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居者の状態変化に合わせ、家族と医師、事業所職員、可能であれば、入居者本人も交え、今後の方針について話し合いがなされている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 23 | 47 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 記録については入居者の個人名を直接出さないよう伏せたり、必要以外の情報については外部に漏らさないよう、言葉掛けや対応と併せ、プライバシー確保の徹底がなされている。 | | |
| 24 | 49 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 起床時間や入浴・食事等、おおまかな流れに沿って支援している状況ではあるが、本人の意向により出来るだけ自由に過ごしてもらえよう努めている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|---------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 25 | 51 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>食事の準備や後片付けを利用者と一緒に行っている。また、職員が同席して見守り、入居者が楽しめるような声掛けがなされている。</p> | | <p>さらに会話が弾み、食事が楽しめるよう、可能であれば入居者と同じ時間に同じものを食べられるような体制作りと取組みに期待したい。</p> |
| 26 | 54 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>入浴回数や曜日の取り決めはあるものの、入居者の希望により曜日や時間帯の変更が可能となっている。</p> | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 27 | 56 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>入居者個別の役割ごととしての軽作業や趣味活動の支援がなされており、ドライブやショッピング、散歩等の気分転換も適宜図られている。</p> | | |
| 28 | 58 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>個別の要望に応じて、日常的に戸外への外出がなされている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|--|---------------------|---|
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 29 | 62 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束をしないケアの重要性について、日々職員間での話し合いを持ち、実践として取り組んでいる。</p> | | |
| 30 | 63 | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | <p>入居者の所在確認に注意を払っており、日中は玄関、居室とも自由に出入りできるよう施錠していない。</p> | | |
| 31 | 68 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>地域住民の協力が得られる体制には至っていない。</p> | | <p>地域住民との協力体制の構築や可能であれば、消防署立会いによる避難訓練の実施、取組みに期待したい。</p> |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 32 | 74 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>食事摂取量については毎日、水分確保については必要に応じ記録し、体調や嗜好に合わせて内容や形態を変え対応している。</p> | | |
| 33 | 75 | <p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> | <p>感染症の流行時期に合わせ、手洗い、うがい、消毒の施行、マスク・手袋の着用の徹底がなされ、取り決めに基づいた対応が図られている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|------|--|--|---------------------|-----------------------------------|
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 34 | 78 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールや玄関、廊下等の共用空間には季節にあった飾り付けがなされており、居心地よく過ごせるよう努めている。 | | |
| 35 | 80 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者、家族と相談し、なじみのものや好みのものを持ち込んでもらい、居心地よく過ごせるよう努めている。 | | |

 は、重点項目。